

平成21年度
ぐんまの遊魚連絡協議会
平成22年3月17日(水)

川鶉の防除の取り組み
案山子設置の概要

制作・講演
両毛漁業協同組合 中島淳志

川鶉対策に案山子設置

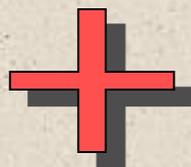


- ・平成20年5月19日～6月15日 28日間 渡良瀬川 20体
- ・平成21年6月 4日～7月19日 46日間 渡良瀬川 15体、桐生川 5体

案山子設置の目的

日々行っている川鶉対策

- ・ロケット花火
- ・おもちゃのピストル
- ・魚放流後の監視の強化



新たな試みとして
案山子の設置を提案

その目的とは・・・

- ・案山子を作り、川の近くに配置し川鶉を警戒する。
- ・案山子は話題性もあるので、案山子を見に来る人が集まればより川鶉を寄せ付けない。
- ・「川鶉による食害」をより多くの方々に知ってもらおう。

案山子作り

低コストでなるべくリアルなものを作る
使用済みの練習用カットマネキンや、
洋服の寄付などを頂き制作した。

設置場所、設置方法とともに、撤去方法、
撤去時間、撤去人数を考慮して制作する

- ・風により倒れないもの
- ・撤去する際、少人数・短時間で作業
できるもの



案山子設置場所①

より多くの人に気付いてもらいたいため

- ・交通量の多い橋の上下流
- ・親水公園など人が集まる場所
- ・土手の通行量の多い場所



- ・なるべく川の近くに設置できる場所
- ・放流などにより魚の量が多い場所

案山子設置場所②



土手を散歩している
人の間で話題になる

水から離れず
高くなってい
る場所に設置

遊園広場となっているため
多くの人目に付く

橋から見る案山子は、
パッと見、人と区別が
つかない



案山子の写真①



案山子の写真②





発行所 桐生タイムス社
桐生市東四丁目5-21 0277-46-2511(代)
〒376-8528 郵便振替00310-5-12247

購読料 1部 80円
1カ月 1,950円
お申し込みは
0120-89-4946

●編集直通 046-2001 046-2545
●広告 046-2511 046-2540
●タイムス案内 046-2536
●折り込みチラシのお申し込み
046-2211 046-3838

桐生タイム

5月24日 土曜日 20

漁協の組合員たちが手づくりしたかかし。6月15日まで、渡良瀬川のアユを見守る(錦桜橋周辺)



大食漢を追い払ってね

両毛漁協 カワウ対策にかかし

早朝・夕方は 火花作戦も

— 渡良瀬川 —

なんやか、大食漢を追い払おうと、漁協ではあの手この手を駆使しているが、決定打は見つかっていない。そこで登場したのがかかし。漁協では国土交通省関東地方整備局から許可を受け、この日、錦桜橋を過ぎ

放流した稚アユをカワウから守ろうと、両毛漁業協同組合(鶴員房茂組合長)は23日、錦桜橋周辺の渡良瀬川の岸辺に20体のかかしを設置した。
5月上旬に福島県産の稚アユを放流した漁協だが、悩まはカワウによる食害。アルに折り曲げてきたり、流れに目をやれば、先日の大雨にもめげず、稚アユたちが群れをなして川底の石をなめている。そして「スナバー」たち。早朝と夕方には、火花を使った追い払い作戦も実施中。解禁の日まで、しばらくは気掛かりな日々が続く。

土曜
ひろば
裁判員

新聞①

なんでもダイヤル

「なんでもダイヤル」は読者の皆さんでつくるページです。主張や提言、意見などどしどし下記までお寄せください。紙上は匿名ですが、投稿には住所氏名、電話番号を明記ください。
0120-300-345 0277-46-2534
E-mail: nandai@kiriyutimes.co.jp

声の交差点

“かかし効果” どうでしたか

錦桜橋の上流と下流に、カワウによる被害を防ごうとかかしが設置されたことを知り、見に行きました。
私のような老人には、かかしには見えませんが、いろいろな服装、スタイルのものがつづら

れていて、かかしと知りつつも人間と思えるほどです。動きがないので、すぐに気づきはするのですが…。風が吹いたら、手足や頭でも動くような仕掛けだったら、かかしとはまったく気づかないかもしれません。

しかしカワウの目は大変よいと聞いております。かかしのカワウ対策の効果はどうだったの

か、ぜひお教えください。やれることは何でもやってみて、その結果しだいでのことを考えればよいと思います。現実に、カワウにアユを食べられ困っているわけですから、結果をみて、さらに工夫を重ねましょう。(桐生市、物見高い1老人、85歳)



08/7/1 桐生タイムス

かかしの効果 私も気になる

渡良瀬川のほとりで、魚を狙うカワウににらみをきかしてほしいとの願いを込めて立てられたかかしのことで、先日、効果はどうなのか教えてほしいとの投書がありました(1日付本欄)「かかし効果」どうでしたか。私も効果のほどを知りたいと思っている一人です。実のところ、「あんまり効果はないんじゃないの?」と思っているのですが…。

(桐生市、男性、50代)

「案山子の効果は？」
などといった読者からのご質問や励ましを多く頂き、返答致しました。

(昭和21年2月8日第三種郵便物認可)

なんでもダイヤル

「なんでもダイヤル」は読者の皆さんでつくるページです。主張や提言、意見などどしどし下記までお寄せください。紙上は匿名ですが、投稿には住所氏名、電話番号を明記ください。

☎0120-300-345 ☎0277-46-2534
E-mail: nandai@kiriyutimes.co.jp

声の交差点

って見ていたので、そんな問題があることがその記事で分かりました。子どもは初めて見たカカシがとてつもない怖さで、普段誘っても嫌がっていた散歩も、カカシ設置期間中はカカシ見たさに一緒にいてきていました。

私がいつも「カワウを追いかけてね」とカカシに声をかけていたためか、子どもも一緒に「頑張ってね」と言っており、何かしら感じていたのではないかと思えます。

漁協カカシで環境問題に目

先日本欄で、両毛漁協さんからのカカシについての「お答えします」を見ました。以前桐生タイムスに「大食漢を追いかけてね カワウ対策にかかし」という設置風景の記事を見て、家がすぐ鳥で、サギの一種だと思

(昭和21年2月8日第三種郵便物認可)

たかがカカシ、されどカカシ

継続してカワウ対策は必要

お答えします

カワウ対策のためのカカシ設置に関し、たくさんの方々にご意見や質問等をいただきました。たいへんうれしく思っております。



両毛漁協が設置したカカシ

われわれはカワウ対策として、これまでも、その間、渡良瀬川の桐生市内各所で漁協理事役員の協力のもと、カワウの捕食行動の盛んな時間帯とされる、朝4時〜7時くらいの間、毎日カワウの飛来調査ならびに追いついて、これを放流した地点で、当然これまではカワウにとって格好の餌

カワウ対策は、それと同時に進行させ、設置前後の約2カ月の間、渡良瀬川の桐生市内各所で漁協理事役員の協力のもと、カワウの捕食行動の盛んな時間帯とされる、朝4時〜7時くらいの間、毎日カワウの飛来調査ならびに追いついて、これを放流した地点で、当然これまではカワウにとって格好の餌

このような結果から考えれば、カカシの効果は微力ながらもあったので、このカカシ何だろっ？」と関心をもっていた

き、カワウの問題(カワウによる食害など)を知っていたら、いいなと思っております。現在、自然界の生態系はかなりのきしゃくとしていられると思えます。カワウの被害をさへ、もともとは人間による自然破壊がもたらしたことが大きいので、単位力だけではどうにもならなくなっている問題が次から次へ出てくるのが現状です。だから協力のもと、われわれは魚のすみやすい豊かな水辺の環境づくりや、これ



かかし設置は川と市民つなぐ

声の交差点 なんでもQ&Aダイヤル!

両毛漁協が今年も河原にかかしを設置したという報道がありました。去年もこの欄で「かかし効果」等について話題になりましたが、私はカワウ被害を減らすという効果もさることながら、市民の川への関心を喚起するという効果は間違いなくあることを初めて知っ

と思っています。渡良瀬川の土手も桐生川の土手も散歩する人が多く、そこにかかしが登場したとなると、まず「何だろう、このかかし」と関心をひくではありませんか。去年かかしが設置された際には、漁協がお金を出してアユなどをせっかく放流しても、カワウがそれを食べてしまう被害について、そういう被害があることを初めて知っ

「なんでもダイヤル」は読者の皆さんでつくるページです。主張や提言、意見などどしどし下記までお寄せください。紙上は匿名ですが、投稿には住所氏名、電話番号を明記ください。

☎0120-300-345 ☎0277-46-2534 E-mail:nandai@kiriyutimes.co.jp

たという人もいました。かかしによって川への関心が喚起され、今まで何の気なしに見ていた黒い鳥(カワウ)による被害があるのだということを知ったということになります。そして、そこからさらに視野を広げ、カワウの被害は全国のいろいろな川で問題になっていることなどを知っていったとなると、「かかし効果は絶大といってもいいのではないのでしょうか。かかし設置の報道をみて、川と市民をつなぐ活動になってきているなあと感じました。(桐生市、一読者、50代)



08/6/12 桐生タイムス

新聞③

なんでもダイヤル

「なんでもダイヤル」は読者の皆さんでつくるページです。主張や提言、意見などどしどし下記までお寄せください。紙上は匿名ですが、投稿には住所氏名、電話番号を明記ください。☎0120-300-345 ☎0277-46-2534 E-mail:nandai@kiriyutimes.co.jp

桐生の川辺でカカシ祭りを

「かかし効果」どうでしたか(7月1日付本欄)を投稿した者です。両毛漁協の「お答えします」(8月23日付)を読みました。私のように、今まで何の興味もなかったような者まで、カワウ問題(大きく

いへば自然環境問題)に目を向けさせてくれるような内容でした。

私ほどときどきカカシやカワウの様子を見ておりました。それは午前10時ごろや午後3時ごろでした。「お答えします」を読み、カワウの捕食行動の盛んな時間帯とされるのが朝4時~7時くらいと夕方5時~7時を初めて使えると思

て知りました。カカシの効果に関しては、「微力ながらも思ったのではないかと思っております」とのこと、よかったですと思いました。カカシさん、本当に苦

す。桐生はからくり人形も観光の目玉の一つといえるほどですから、カカシの体の一部あるいは全体が、少しでも動くようなものができれば、「カカシ効果」はさらに向上すると考えられます。川の流れあるいは風の力を動力源として使えると思

声の交差点

雨が降れば川の流れも変わり、風もつねに変わっていて、それを動力源として使うには難しいところがあるとは思いますが、それだけに挑戦する張り合いもあります。「お答えします」を読

風に近いときでも水辺は少し空気が動いておりまわっています。私はここ10年、風があれは、冬だけでなく一年中たご揚げしてきていたので、目に見えない風も少しわかるようになってきました。

からくりカカシが並ぶ祭りは、釣りをする人も釣りをしない人も川辺で交流できる場ともなるのではないのでしょうか。カワウの被害対策の具体化に挑戦するイベントが、まちの活性化につながると思っています。(桐生市、川べりの物見高い一老人、86歳)



08/9/2 桐生タイムス

新聞④

カワウ撃退 かかしに期待



桐生川沿いに立てられたカワウ対策のかかし(6日)

カワウに放流したアユとヤマメが食べられることに悩む河毛漁業協同組合は6、7の両日、渡良瀬川とその支流の桐生川の河川敷などに、飛来数を減らそうと、計20体のかかしを設置した。

同漁協は、今月4日に桐生川にアユの稚魚を放流した。今年のかかし設置は、これに合わせた。かかしは高さ約2メートルで、蛍光色で塗るなど、目立つ色の服を着ている。

渡良瀬川には昨年6月頃

から1か月余り、計20体のかかしを置いた。設置場所付近では、しばらくはカワウが激減したことから、同漁協は「一定の効果がある」と判断した。また、かかしを見た周辺の住民から、「近くにあった方が心強い」などの要望が高まったことから、食害への理解を深めてもらうことも狙って、桐生川での設置も決め、昨年使った一部を振り分けた。

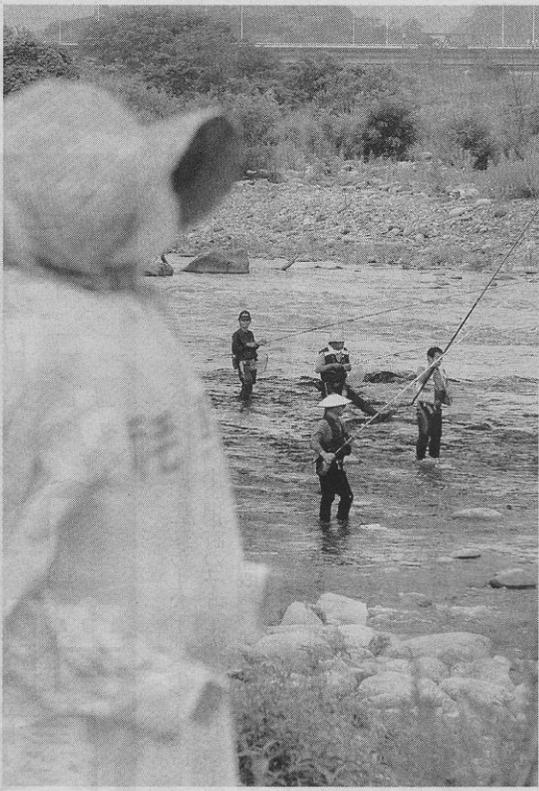
カワウ対策に取り組み県水産試験場によると、学習

能力が高いらしく、一般に、かかしによるけん制の効果は短期間とされる。同試験場は2008年11月、敷地内で、他県の実験では、かかしより効果が高いとされた、ヘビのように動く専門の道具を使って、飼育しているカワウの反応を調べた。だが、おびえるなどの効果は3日間だけだった。

なお、同漁協の組合員は朝や夕方の方の見回りの際、おもちゃのピストルを鳴らして音でも威嚇していると

かかしに見守られアユ解禁 渡良瀬川

河毛漁業協同組合(鶴 良瀬川で12日、アユ釣り 員房茂組合長)管内の渡 良瀬川で12日、アユ釣りが解禁となり、待ちわび ながら長い釣りさおを並べ



かかしのすぐそばで釣りさおを並べる釣り師たち(錦桜橋下の渡良瀬川で)

て釣果を競い合った。同漁協は川岸にカワウ対策用のかかしを設置した同川で6月14日、稚魚約280きを放流するな

どアユ漁の復活に努めてしに見守られるように、大勢の釣り師たちが集った同川で6月14日、稚魚約280きを放流するな

桐生市の錦桜橋周辺で、長いさおをしならせは、カワウ対策用のかか



新聞⑤

学習能力の高い川鵜に対し、直接的な効果を高めるため、ふだんロケット花火やおもちゃのピストルなどで追い払いを行う際に着用している黄色いベストを案山子に着せた。



余聞録

黄色いウエアにかかし「お色直し」

カワウから放流魚を守るため、桐生川の中里橋下流と渡良瀬川の錦桜橋付近に登場したかかしがこのほど、黄色い衣装へと「お色直し」を済ませた。

両毛漁業協同組合（鶴貝房茂組合長）ではカワウを追い払うため、河川に足を運びさ

まざまな取り組みを実践している。その際、着用しているのが両毛漁業のロゴが入った黄色いウエア。

「黄色いウエアを見るとカワウが近寄らないといった情報もあるようです」と、漁協関

係者は話す。今回の取り組みは、そんなカワウの学習能力を利用したもの。漁協では100円シ

ヨップで購入した黄色いレインウエアをカッターで書き込み、6月下

旬、20体のかかしに着せた。黄色が目立つよう、汚れた衣を取り替えるといったひと手間も。

お色直しして1週間。漁協には「変わりましたね」といった市民からの反響も。「川への関心を高めるのも目的の一つ。人が近くにいれば、カワウ被害も小さくなりますし」と関係者。

12日（渡良瀬川）と19日（桐生川）に予定されているアユ解禁まで、見張りが続く。



黄色いウエアを着たかかし(桐生川で)

案山子を通じて漁協に関心が向いた

川鶉の食害に対しての直接的な効果は少ないかもしれないが、市民から多くの反響を頂いた。



PR効果は絶大だった！